

聖徳太子と出会う近江一万階段 NPO法人歴史資源開発機構

始まり

近江で良く聞く話

「うちの寺は聖徳太子が開いたのを織田信長が焼いてしても、なーんにもない貧乏寺ですわ」

本当に、聖徳太子が開いた寺が多いのか？…調べてみよう

調査の結果、聖徳太子が開いた寺院・神社・・・112カ所

全国断トツの第1位。これは凄すぎる。近江を全国に売り出す格好の文化遺産！ 時は、2022年、これは聖徳太子が亡くなられて1400年の記念の年。聖徳太子関連社寺を観光の素材として発信しよう！

しかし、前に立ちはだかる障害

階段・石段

- * 何故か、近江の聖徳太子関連社寺の多くが山にある
- * 山にあるということは、お参りのためには階段・石段を登らなければならない

社寺観光で忌み嫌われるのが

階段・石段

でも、あるのだから仕方がない

どうしよう

- * 階段・石段があるのだから仕方がない
- * これは、近江聖徳太子観光のために乗り越えなければならない壁
- * 壁？ 「壁」と考えれば排除するしかない
- * 階段・石段を「近江の個性」と考えれば？
- * 「個性」として捉えれば階段・石段が資源になる可能性が出てくる

階段・石段を登る事を観光とすれば良い

では、一体何段の階段階段・石段があるのか？

調べれば良い・調べよう

調査の結果

30段以上の石段・階段を持つ社寺・・・48社寺
石段・階段総数・・・16,227段

これを全部登ったら、健康になるよね

行程

- * 聖徳太子石段の楽しさを発信する
- * 一万段を目指し、石段・階段登りに挑戦してもらう
- * 達成者には記念品を進呈

「健康しが」活動創出支援事業費補助金

の採択

調査の結果を取りまとめ、事業参加へ誘導するために製作した冊子(表表紙・裏表紙)



チャレンジ

聖徳太子と出会う 近江一万階段

まずは一万階段を目指して

聖徳太子の階段歩きにチャレンジしてみませんか？

健康つくりと近江の文化を楽しむため、

全部登るとほぼ富士山の高さ。

その総数は一万六千段を超えます。

山のお寺・山の神社には階段が付き物。

しかし、何故か聖徳太子のお寺・神社は山にあります。

近江は日本で一番聖徳太子に関係するお寺・神社が多い国。

2022年9月

NPO法人 歴史資源開発機構

聖徳太子と出会う一万階段一覧表						
番号	社寺名	聖徳太子との関係	所在地	石段数	手強さ	登拝年月日
1	小野の里(小野神社・小野笠神社・小野道風神社)	小野妹子関連	大津市小野	98段	幕内	年月日
2	唐白山古墳(妹子神社参道)	小野妹子関連	大津市水明	42段	幕内	年月日
3	(参考)延暦寺本坂の一部	樟堂を太子建立	大津市坂本町	240段	関脇	年月日
4	日吉大社(八王子山および境内)	太子参拝	大津市坂本	312段	関脇	年月日
5	崇福寺(史跡内階段)	太子の分身を祀る	大津市志賀里	396段	大関	年月日
6	園城寺(境内階段)	太子の分身を祀る	大津市園城寺町	438段	大関	年月日
7	西教寺(境内階段)	太子開基	大津市坂本	206段	関脇	年月日
8	国分太子堂	太子像を安置	大津市国分	151段	関脇	年月日
9	石山寺(境内階段)	太子の念持仏が本尊	大津市石山寺	365段	大関	年月日
10	上乘寺	太子御作十一面観音	湖南省三雲	41段	幕内	年月日
11	飯道寺(宮町からの参道)	太子御作不動明王	甲賀市信楽町宮町	737段	横綱	年月日
12	飯道神社(宮町からの参道)	太子を祀る	甲賀市信楽町宮町	706段	横綱	年月日
13	正福寺	太子開基・御作十一面観音	甲賀市甲南町杉谷	96段	幕内	年月日
14	下馬杉太子堂	太子を祀る	甲賀市甲南町下馬杉	81段	幕内	年月日
15	貴龍神社(油日(ゆうひ)神社参道)	太子悪龍を退治	甲賀市甲南町上馬杉	66段	幕内	年月日
16	妙楽寺薬師堂	太子開基・御作薬師如来	日野町川原	48段	幕内	年月日
17	金剛定寺	太子開基・御作十一面観音	日野町中山	41段	幕内	年月日
18	竜王観音禅寺	太子開基・御作十一面観音	竜王町小口	60段	幕内	年月日
19	願成就寺	太子開基・御作十一面観音	近江八幡市小舟木町	78段	幕内	年月日
20	青根天満宮	太子御作阿弥陀如来	近江八幡市舟木町	77段	幕内	年月日
21	長命寺	太子開基・御作観音像	近江八幡市長命寺町	808段	横綱	年月日
22	観音正寺(石寺からの参道)	太子開基・御作千手観音	近江八幡市安土町石寺	1150段	横綱	年月日
23	教林坊	太子開基・御作聖観音	近江八幡市安土町石寺	79段	幕内	年月日
24	若戸山十三佛	太子開基・御作十三佛	近江八幡市安土町内野	962段	横綱	年月日
25	天神社	三和姫伝説	近江八幡浄土寺	238段	関脇	年月日
26	勝壽寺(多門院)	太子開基・御作毘沙門天	東近江市中羽田町	35段	幕内	年月日
27	石塔寺	太子開基	東近江市石塔町	178段	関脇	年月日
28	願成就寺(境内階段)	太子開基・御作聖観音	東近江市川合町	48段	幕内	年月日
29	善勝寺(北向岩屋十一面観音)(表参道石段)	太子開基・御作十一面観音	東近江市佐野町・猪子町	441段	大関	年月日
30	善勝寺(北向岩屋十一面観音)(善勝寺表参道前)	太子開基・御作十一面観音	東近江市佐野町・猪子町	223段	関脇	年月日
31	善勝寺(北向岩屋十一面観音)(裏参道)	太子開基・御作十一面観音	東近江市佐野町・猪子町	1053段	横綱	年月日
32	安楽寺	太子開基・御作千手観音	東近江市能登川町	237段	関脇	年月日
33	乾徳寺	太子開基	東近江市五個荘川並町	95段	幕内	年月日
34	正瑞寺	太子開基	東近江市五個荘下日吉町	81段	幕内	年月日
35	石馬寺(石馬の池からの参道)	太子開基・御作千手観音	東近江市五個荘石馬寺町	335段	大関	年月日
36	雨宮龍神社(石馬の池からの参道)	太子開創	東近江市五個荘石馬寺町	901段	横綱	年月日
37	雨宮龍神社(北向岩屋十一面観音からの参道)	太子草創	東近江市五個荘石馬寺町	1637段	横綱	年月日
38	六所神社(石馬の池からの参道)	石馬寺鎮守	東近江市五個荘石馬寺町	276段	関脇	年月日
39	瓦屋禅寺	太子開基・御作千手観音	東近江市健部瓦屋寺町	994段	横綱	年月日
40	太郎坊宮	太子開創	東近江市小脇町	742段	横綱	年月日
41	成願寺	太子開基	東近江市小脇町	112段	関脇	年月日
42	百済寺	太子開基・御作十一面観音	東近江市百済寺町	461段	大関	年月日
43	長寿寺	太子開基・御作聖観音	東近江市池之脇町	46段	幕内	年月日
44	東光寺(境内階段)	太子開基	東近江市平尾町	111段	関脇	年月日
45	金剛輪寺	太子開基	愛荘町松尾	231段	関脇	年月日
46	敏満寺(胡宮神社境内階段)	太子開基・御作十一面観音	多賀町敏満寺	176段	関脇	年月日
47	竹生島宝蔵寺(弁天堂まで)	太子参拝	長浜市早崎町	166段	大関	年月日
48	大崎寺	太子御作阿弥陀如来	高島市マキノ町海津	132段	関脇	年月日

* 以上の高さを約23cmとし、全階段を制覇すると、ほぼ富士山の高さとなります。 合計 16,227 段 登拝合計 段

* この冊子には、近江にある聖徳太子に関連する縁起を伝える社寺の内、30段以上の石段を持つ社寺を掲載しました。
* この一覧表は、一万階段にチャレンジした際のチェックシートとしてお使いください。
* 一覧表左の「登拝年月日」の欄に実際に登拝された年月日を記載(入力)の上、合計一万段以上を達成しましたら、下記送付先までお送りください。



NPO法人歴史資源開発機構より、先着100名様に記念品を差し上げます。

〈応募期間〉 2022年9月23日(金・祝)～2023年12月31日(日)

* チェックシートは、下記よりダウンロードすることもできます。

〈ダウンロード〉 「近江の聖徳太子魅力発信事業公式ホームページ(https://omi-st1400.com/)」

〈1万階段達成チェックシートの送付先〉 聖徳太子1400年悠久の近江魅力再発見委員会事務局

〒527-8527 東近江市八日市緑町10-5 東近江市観光物産課内 e-mail kanko@city.higashiomori.lg.jp



〈参考となる資料〉

『聖徳太子の文化観光資源調査報告書』 NPO法人歴史資源開発機構 東近江観光振興協議会 2020年
『近江聖徳太子絵巻一巻～十巻』 大沼芳幸・早田まな 聖徳太子文化活用推進協議会 2021年
『近江の聖徳太子一縁起・伝説の世界を訪ねる』 大沼芳幸 海青社 2022年

チャレンジ 聖徳太子と出会う近江一万階段

発行 2022年9月

発行・編集 NPO法人歴史資源開発機構

* この冊子は2022年(令和4)「健康しが」活動創出支援事業費補助金の採択を得て作成した。

聖徳太子と出会う近江一万階段事業内容

冊子『チャレンジ聖徳太子と出会う近江一万階段』の編集・印刷・配布

A-4版カラー印刷16頁

5000部印刷し、観光関係機関等へ配布

事業告知媒体「チャレンジ聖徳太子と出会う近江一万階段」の編集・印刷・配布

A-4版カラー印刷4頁

5000部印刷し、観光関係機関等へ配布

モデル登拝事業「聖徳太子と出会う近江一万階段」の開催

一般社団法人東近江市観光協会との協働により、代表的な聖徳太子関連社寺の階段・石段を登って参拝する「モデル登拝」を4回開催した

第1回 [聖徳太子と岩の神々を巡る] 石馬寺ほか

第2回 [聖徳太子と愛でる錦秋の社寺] 観音正寺ほか

第3回 [聖徳太子と愛でる水源の仏と太郎坊宮お火焚き]
瓦屋禅寺ほか

第4回 [聖徳太子と拝する自然の神々そして渡来の神]
岩戸山十三佛ほか

広 報

聖徳太子1400年事業事務局HP・関係観光協会HPに事業告知を行うと共に、マスコミにプレスリリースし、新聞等に掲載された

事業成果と問題点

階段・石段を観光資源そして、健康づくりの資源として評価する、全くなかった視点からの事業であり、注目度が高く、多くのマスコミに取り上げられ、取り組みが高い可能性を持つことが示された

体を動かして社寺に参拝（登拝）することが、健康づくりに資することは当然であるが、歩いて登拝することにより、今まで気づけなかった歴史文化遺産自体、ならびにそのアプローチの過程に潜む価値を認識する事に繋がり、新たな視点からの歴史文化観光の可能性を示すことができた

モデル登拝事業において、やや高額ではあるが地産の食材を使用した昼食を提供した。単に体を動かす、社寺を参拝する、といった目的の達成以上の満足を参加者が感じられた。価値を複合化する事により、資源の価値が高まる事が示された

問題点と展開

全く新しい、取り組みおよび、未来性に対する民間からの提案である。事業は取り組みの端緒であり、観光資源・健康資源としての定着には継続的取り組みが必要となる

事業の継続的な情報発信に関して、一法人の力では限界がある。

これを近江の個性的な文化財的・観光的・健康づくり的資源として活用し、「財」とするのであれば、関係行政機関の積極的対応が必要となる

